

平成28年度 ブロック研修会報告書

	平成28年度 全国保健師長会 南関東・東京ブロック研修会
日程	平成28年9月10日(土) 午前10時～午後3時
会場	千葉市文化センター 千葉中央ツインビル2号館 5階セミナー室
研修内容 (スケジュールなど)	<p>3全国保健師長会 活動方針について 全国保健師長会総務担当理事 岡島 さおり氏</p> <p>4研究報告「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」 全国保健師長会研究班 浅井 澄代氏</p> <p>5講演「キャリアラダーの実践活用」 千葉大学大学院 看護学研究科長 看護学部長 教授 宮崎 美砂子氏</p> <p>6実践報告①「保健師活動指針策定から始める人材育成、初めの一步」 新宿区健康部健康づくり課 健康長寿担当副参事 松浦 美紀氏 ②「横浜市の人材育成の取り組み」 横浜市健康福祉局福祉保健課 人材育成担当課長 嘉代 佐知子氏</p> <p>7グループワーク 助言者 千葉大学大学院 看護学研究科長 看護学部長 教授 宮崎 美砂子氏</p>
参加者	119人(申込132人)
研修会の状況	<p>全体を通して、振り返り(リフレクション)の大切さを再認識でき、リフレクションは今回の研修会のキーワードになった。</p> <p>活動方針の説明では、「全国保健師長会の取り組みを初めて知り、よかった」という意見が複数あった。</p> <p>研究報告は、「保健所と市町村の捉え方の違いが理解できた」という意見が多かった。</p> <p>講演は、人材育成の取り組みで企画し、キャリアラダーがなぜ必要で、どんな力をつければいいのかをテーマにお話しいただき大好評を得た。</p> <p>実践報告では、取り組み始めた新宿区と、キャリアラダー先進市の横浜市に発表をお願いしたが、「他市の取り組みは参考になり、具体的なヒントを得た」という意見が多かった。</p> <p>グループワークも、人材育成をテーマに行い、「講演や実践報告の理解が深まった」「自治体ごとに同様の課題や悩みが多く、共有できた」などの意見が多かった。</p>
参加者の感想など (一部抜粋)	<p>千葉まで頑張ってきたかいたがあった。</p> <p>講義・実践報告・グループワークがつながって学びやすく、実践につなげたいと思った。</p> <p>氷山の下の伝承ができるように、色々な経験を語ったり、出来事を共有していきたい。</p> <p>参加してとても学びになった。グループワークや地域包括の話など。</p> <p>リフレクション、実践したい。</p> <p>経験をデザインするという表現が印象に残った。</p> <p>職場の他職種にも伝えたい。</p> <p>プロセスから人材育成であること、重要性を再認識した。</p> <p>各市県区の悩みが共通だと感じた。保健師の質が変わってきている、コミュニケーション苦手、内省がない、人のせい、不確実なものに答えを欲しがると。</p> <p>基本的な考え方を説明して頂き、ストンと落ちた気がした。今の組織をどうするか、キャリアラダーをどう活用するか考える礎になった。</p> <p>師長会が委員会活動を多くしているのに驚いた。</p> <p>今後も人材育成をテーマに取り組んでほしい。</p>
ブロック理事	千葉市 中山 久美子・東京都 河西 あかね